



長野県議会 第154号

発行/長野県議会 編集/長野県議会広報委員会

こんにちは県議会です

【党派等議員数】

定数	57人
自由民主党県議団	29人
改革・創造みらい	12人
県民クラブ・公明	8人
日本共産党県議団	5人
無所属	3人
現員	57人
(令和4年4月1日現在)	

議長、副議長が選任され委員会構成が決まりました。

議長就任のごあいさつ



議長 丸山 栄一



副議長 高島 陽子

このたび、第96代長野県議会議長に就任いたしました。

今、県政は新型コロナウイルス感染症や自然災害等の切迫した課題と、気候変動や人口減少等の中長期的な課題など、重大な局面にあります。

こうした時代の転換期である今こそ、県民の皆様の様々な意見を把握して審議に反映し、十分な議論を経て意思決定するとともに、県の施策に対して厳格なチェックや必要な提言を行うなど、県議会としての役割を果たしていかなければなりません。

長野県の発展と県民福祉の向上のために、身近で開かれた県議会に向けた取組を進めながら、誠心誠意、円滑な議会運営に努め、県民の皆様から一層の信頼をいただける県議会にしたいです。

自由民主党県議団・・・(自)
 改革・創造みらい・・・(改)
 県民クラブ・公明・・・(県)
 日本共産党県議団・・・(共)
 無所属・・・(無)
 ◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会

議会の運営が円滑に行われるよう日程などを協議します。また、議会の規律、諸規程などについても話し合います。

- ◎酒井 茂 (自)
- 池田 清 (改)
- 本郷 一彦 (自)
- 垣内 基良 (自)
- 宮本 衡司 (自)
- 宮下 克彦 (自)
- 竹花 美幸 (自)
- 荒井 武志 (改)
- 小池 久長 (県)
- 清水 純子 (県)
- 両角 友成 (共)

監査委員

- 佐々木 祥二 (自)

総務企画警察委員会

県行政の総合的な企画調整、地域振興、県財政の状況、国際交流の推進、犯罪・交通事故・少年非行の防止などについて調査や議案等の審査をします。



◎丸山 大輔 (自) ○川上 信彦 (県) 望月 雄内 (自) 萩原 清 (自) 本郷 一彦 (自)



向山 公人 (自) 風間 辰一 (自) 小林 東一郎 (改) 荒井 武志 (改) 宮澤 敏文 (県)

県民文化健康福祉委員会

地域の芸術文化の創造、子どもの育成支援、高齢者・児童・障がい者などの福祉、健康づくりの推進や医療の整備、食品衛生などについて調査や議案等の審査をします。



◎花岡 賢一 (改) ○丸茂 岳人 (自) 垣内 基良 (自) 酒井 茂 (自) 山田 英喜 (自)



小島 康晴 (改) 小池 久長 (県) 山口 典久 (共) 小林 君男 (無)



産業観光企業委員会

商工業・サービス業の振興、雇用や労働対策、観光の振興、公営事業（電気・水道）の運営などについて調査や議案等の審査をします。



◎共田 武史 (自) ○竹内 正美 (自) 小池 清 (自) 石和 大 (自) 大井 岳夫 (自)



熊谷 元尋 (改) 望月 義寿 (改) 加藤 康治 (県) 両角 友成 (共)



農政林務委員会

農業・水産業の振興、農村の活性化、林業の振興、山村の活性化、森林整備の推進、農林業の災害対策などについて調査や議案等の審査をします。



◎小山 仁志 (県) ○宮下 克彦 (自) 佐々木 祥二 (自) 鈴木 清 (自) 依田 明善 (自)



中川 博司 (改) 池田 清 (改) 毛利 栄子 (共) 小林 あや (無)



危機管理建設委員会

消防・災害対策、都市計画の策定、道路・河川・県営住宅などの建設や管理、建築物に関する指導、景観育成などについて調査や議案等の審査をします。



◎堀内 孝人 (自) ○大畑 俊隆 (自) 服部 宏昭 (自) 平野 成基 (自) 宮本 衡司 (自)



続木 幹夫 (改) 清水 純子 (県) 清水 正康 (県) 高村 京子 (共)



環境文教委員会

地球・自然・生活環境の保全、廃棄物対策、学校教育の充実、生涯学習の推進、文化財の保護、スポーツの振興などについて調査や議案等の審査をします。



◎寺沢 功希 (改) ○竹花 美幸 (自) 西沢 正隆 (自) 清沢 英男 (自) 山岸 喜昭 (自)



埋橋 茂人 (改) 譚訪 光昭 (県) 和田 明子 (共) 百瀬 智之 (無)



令和4年1月臨時会(1月14日)の概要

新型コロナウイルス感染症対策や防災・減災対策、県立学校の環境整備及び県有施設への太陽光発電設備導入などの予算について審議しました。

本会議での質疑(4人)及び委員会審査では、新型コロナウイルスワクチンの追加接種の促進や経済再生に向けた需要喚起策、災害に強い地域づくりの取組など、活発に議論し、補正予算案1件を原案のとおり可決しました。

令和4年2月定例会(2月16日~3月16日)の概要

最終年度を迎える「しあわせ信州創造プラン2.0」の総仕上げを図るとともに、コロナ禍や自然災害等から「確かな暮らし」を守る施策、脱炭素社会の構築などに挑戦する施策などに必要な経費を盛り込んだ総額1兆848億9,672万円余の令和4年度一般会計予算案などの議案が、知事から提出されました。

本会議での代表質問(3人)、一般質問(33人)及び委員会審査では、新型コロナウイルス感染症対策や、困難を抱える人への支援、脱炭素社会づくりや防災・減災対策など様々な課題について活発に議論しました。審議の結果、令和4年度一般会計予算案や長野県犯罪被害者等支援条例案、障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり条例案など74件を原案のとおり可決、同意又は承認しました。

議員提出議案は、条例案1件、決議案1件、意見書案7件を可決しました。

可決した議員提出議案一覧



意見書は国に提出し、実現を求めました。

- ・県民の希望をかなえる少子化対策の推進に関する条例
- ・地域公共交通に対する一層の支援を求める意見書
- ・新型コロナウイルスのワクチン接種の更なる推進等を求める意見書
- ・外国人材の円滑かつ適正な受入れに向けた入国・在留管理を求める意見書
- ・サイバー攻撃等を含むハイブリッド戦に対応した安全保障体制の確立を求める意見書
- ・児童相談所の体制強化に関する支援を求める意見書
- ・ヤングケアラーへの支援の強化を求める意見書
- ・介護従事者の処遇改善に関する手続の簡素化等を求める意見書
- ・ロシアのウクライナ侵攻を強く非難する決議

議員提案により「県民の希望をかなえる少子化対策の推進に関する条例」を制定しました



コロナ禍において本県の出生数が過去最少となるなど、少子化が加速し、地域の持続可能な発展に対する大きな脅威となっています。県議会では、地域社会が総力を挙げて少子化対策を推進し、結婚、妊娠、出産、子育てに関する一人一人の希望をかなえることのできる社会の実現を目指して、「県民の希望をかなえる少子化対策の推進に関する条例(案)」を議員提案し、全会一致で可決しました。(3月10日公布・施行)

【条例の概要】

- 目的として、結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえるための施策を推進し、豊かで活力ある持続可能な地域社会の実現に寄与することを規定。(第1条)
- 基本理念として、結婚、妊娠、出産、子育てに関する多様な価値観が尊重され、一人一人の希望の実現に最大限配慮することや、地域社会全体で総力を挙げて取り組むこと等を規定。(第3条)
- 基本的施策では、就業の支援(第10条)、結婚の支援(第11条)、妊娠、出産及び子育ての支援(第12条)等を切れ目なく行うとともに、ライフデザイン教育の推進(第14条)や地域の特性を生かした取組等(第15条)を規定。

本会議での主な審議



〰〰議員の質問質疑



〰〰知事・部長等の答弁

議論1 新型コロナから暮らしと産業を守るために

まん延防止等重点措置やこれまでの施策の成果等について議論



Q まん延防止等重点措置の適用の効果について、どのように評価しているか。県民の行動変容を促したのかどうかなど、しっかり効果を検証すべきだ。

A 混雑場所への外出の自粛、飲食店の営業時間短縮などを要請したところ、主要駅や繁華街での人流が減少したことから、一定の行動変容を促すことができたと考えている。
新規陽性者数は下降傾向にあり、確保病床使用率も低下しつつあるなど、効果が表れている。

Q 給付金や融資等の事業継続支援の制度は、経営破綻を防ぐという点で一定の評価を得ている一方、今後の中長期的な姿が描けないとの声がある。新型コロナが長期化する中、今後も事業が継続できるよう支援すべきだ。

A これまでの施策は、急激な売上減少に対して資金繰りを支援。借入金の返済期を見据え、返済負担の軽減策を講じていく。
また、事業者の新分野への展開を支援するため、長野県プラス補助金やプレミアム食事券などの需要喚起策を講じる。

議論2 誰もが安心して暮らせる長野県に

障がいなどの困難を抱える人への支援について議論



Q 「障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり条例案」では、差別解消のための手立てとして相談体制が規定されているが、差別されたと感じた障がい者が気軽に相談でき、ワンストップの相談センターとして機能を十分に果たせるものにすべきだ。

A 既に県庁内に「障がい者差別相談窓口」を設けており、条例に先行して相談員を増員した。
差別の解消には、相談にきめ細かく対応し、当事者双方の合意形成が重要。今後はワンストップの相談センターとして、より強力に周知し、気軽に相談できる窓口とする。

Q 令和4年度に予定しているヤングケアラー実態調査の結果を分析し、迅速に支援に結び付けるためには、現場の意識改革を行うべきだ。

A 令和3年度に高校生対象の調査を実施したが、令和4年度は小・中・大学生に対象を広げる。
調査結果の分析とともに、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの増員等により、学校現場の対応力向上、適切な支援につながると考えるが、適切な支援には教員を含めてそれぞれ自分のすべきことの認識が重要。連携支援の具体的な事例研究や学校と市町村担当者との意見交換等を行う研修を実施し、現場の意識改革を図る。

議論3 災害に備えて社会資本の整備と人材の確保を

多発する自然災害への備えや対応策について議論



Q 3年連続で甚大な豪雨災害が発生しており、災害に強い県づくりは最重要課題。また、広大な本県の社会資本整備は十分とは言えない。防災・減災対策及び未来への投資となる社会資本整備を積極的に進めるべきだ。

A 頻発化・激甚化する自然災害の脅威やインフラの老朽化等に備え、国の制度を最大限活用し、県土の強靱化を進めている。また、観光地域づくりや地域の産業振興、広域交流の促進などの実現には、基盤となる社会資本整備は重要と認識しており、予算確保に努め着実に実施していく。

Q 地域の防災活動において「防災士」の活用を提案する。防災士はNPO法人の民間資格で、防災・減災活動が期待され、十分な知識等を持っているが、市町村によっては地元の防災士の情報を持っていないため、十分に活用できていない。
県がNPO法人にかけあい、防災士の情報について市町村との橋渡しを提案する。

A 防災士の地域における活躍の場の確保については、市町村への要請や、防災士養成研修機関と連携した研修等に取り組んできた。
地域での活動を希望する防災士をターゲットに、意欲ある防災士が地域において活動できるよう、必要な支援をしていく。

議論4 ゼロカーボンに向けて各分野での取組

ゼロカーボン実現に向けた各分野での今後の取組について議論



Q 長野県ゼロカーボン戦略には、ゼロカーボンに取り組む県内企業への支援策も盛り込まれているが、ゼロカーボンの実現には経済社会全体の構造転換が肝要。経済界と積極的に連携して取り組むべきだ。

A ゼロカーボン社会の実現には、経済界の取組が極めて重要であり、1月の産業イノベーション推進本部会議では、産業界の取組の重要性を確認した。ただ、中小企業やエネルギー関連産業では、脱炭素化によるマイナスの影響や、取組方法が分からないという面もある。プラス面とマイナス面を把握し、支援策等を講じながら経済界と協力・連携して進めていく。

Q 林業県の実現に向けて次の展開が期待される次期森林づくり指針では、防災や環境の視点を取り入れた指針とすべきだ。

A 次期指針では、木材生産が将来にわたって継続して行えるよう森林づくりを基本に据えていくが、加えて、土砂災害防止や洪水防止など災害に強い森林づくりはもとより、ゼロカーボン実現にも資する二酸化炭素吸収・固定機能にも着目しながら指針の策定を進めていく。

大学生とオンラインで意見交換をしました



2月10日(木)に、県内の大学生17名と「地域活性化に向けた移住・定住促進」、「コロナ禍の大学生の生活実態と行政に求める支援」、「気候変動・環境問題に対応した環境教育」などについて意見交換をしました。大学生から、「県内で高齢化が進む中、子育て世代の移住が重要」、「多様性を受け入れる環境づくりが大切」といった意見やアイデアをいただきました。議長からは、コロナ禍でも努力している大学生に感謝と応援の言葉が送られました。



オンラインでの意見交換会の様子

広報番組「こんにちは県議会です」を、ケーブルテレビで放送します(一部の地域は除く)

内容 2月定例会の本会議での主な審議や、産業観光企業委員会、農政林務委員会及び環境文教委員会の模様等

※放送日時は、ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。
※過去1年分の番組は、県議会ホームページでご覧いただけます。



6月定例会日程(予定)

【会期16日間】

- ▽6月16日(木) 開会
- ▽6月21日(火)～24日(金) 一般質問及び質疑
- ▽6月27日(月)～29日(水) 各委員会
- ▽6月30日(木) 総務企画警察委員会
- ▽7月1日(金) 閉会

県議会ホームページをご覧ください

※本会議のインターネット中継(生中継及び録画)については、スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。

長野県議会

検索



県議会Twitterをご覧ください 皆様のフォローをお願いします。

@Naganokengikai



「こんにちは県議会です」は、県議会定例会後に発行しています。お問い合わせ、ご意見は長野県議会事務局調査課まで

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

TEL 026-235-7414(直通) ●FAX 026-235-7363

●Eメール chosa@pref.nagano.lg.jp

長野県議会ホームページ <https://www.pref.nagano.lg.jp/gikai/chosa/index.html>